

Event

第16回 HCSソリューションフェア2019 いよいよ開催間近！

テーマは、「全力パートナー～共創によるビジネス変革への挑戦～」昨年度までと異なり、今年は体験・特設コーナーを設けます。AIやVRなど、先端技術をぜひ会場で体験してください。

日時

11月14日(木)
9:15~16:30

場所

とやま自遊館（展示会場）
サンフォルテ（講演会場）

特設サイトはこちら



プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品
事務用品を
Webから簡単購入！

2 34,000点にのぼる
豊富な品揃え！

3 14時までの
ご注文で翌日お届け！



丸一運輸株式会社 様

(所在地：石川県七尾市)

Case Study

システム刷新で「業務効率化」「経営情報の可視化」を実現！



▲ 本社社屋外観

丸一運輸様は、1972年に創業。95台の多彩な車両を取り揃え、石川県内を中心とする「専属ルート配送」から関東・中京・関西方面への「一般貨物輸送」まで、幅広い運送サービスを展開されています。その他にも、「倉庫業」、自動車整備部門として「オートセンター」を展開し、荷主様の企業活動を全面的に支援しております。今回はシステム刷新を目的にターコイズ運輸システム（以下、「TQ運輸」）の導入に至った経緯や効果、今後の展望について、代表取締役社長 木下様にお話を伺いました。（以下、敬称略）

ご検討の背景を教えてください。

木下：旧運輸システムは2001年に導入して18年近く使用しました。その間、ハードウェアの更新は何度か行いましたが、システムの機能に関しては大きな変更を行いませんでした。しかしWindows7のサポート終了に伴うパソコンの切替検討を開始したところ、旧運輸システムはWindows10に対応しておらず、システム自体を見直す必要がありました。経営者としてこの機会を好機と捉え、社員の声を尊重し、業務課題も同時に解決するシステム刷新を主題とすることにしました。

どのような課題がありましたか？

木下：旧運輸システムは実務とマッチしておらず、システムで協力会社への支払管理ができませんでした。支払情報をシステムで一元管理できなかったため、事務員の手間もかかりますし、収支状況を素早く把握できない点も問題でした。また原価分析に使う運行実績データは、事務員が一からExcelで作成していたため、簡単に経営情報を把握できませんでした。

システム選定の決め手は何でしたか？

木下：『TQ運輸』は、旧運輸システムの機能を網羅し、業務課題の解決に関しても柔軟に対応できると判断したからです。また豊富な導入実績があり、旧運輸システム導入からお世話になっているHCSさんが弊社の業務を十分に理解してくれていることも決め手の一つでした。

運用開始してみてもいかがでしょうか？

木下：全ての支払情報をシステムで一元管理

できるようになり、運行実績データもシステム側で作成できるようになりました。そのおかげで、社員の負担を大幅に軽減でき、経営情報を素早く把握できるようになりました。

旧運輸システムを長年使用していたので操作面で不安がありましたが、『TQ運輸』は画面構成や操作方法がシンプルなので、利用者が混乱することはありませんでした。

HCSの対応はいかがですか？

木下：HCSさんに問い合わせると、こちらの意図まで汲み取って、親身に対応してくれるので安心して相談できます。

今後の展望を教えてください。

木下：事務員が記入する配送表やドライバーが出先で記入する運転日報の内容は、あとで事務員が『TQ運輸』へ入力していますが、「紙への記入」と「システムへの入力」の2度手間になっています。そこで、作業効率化とペーパーレス化を目指し、紙帳票を電子化してスマートフォンやタブレットから入力できるようにしたいと考えています。



丸一運輸 株式会社

HCS ソリューションフェア 2019

日時 11月14日(木) 9:15~16:30

場所 とやま自遊館 (展示会場)
サンフォルテ (講演会場)申込
期限 11月11日(月)

お申し込みはこちら！



多彩なブース出展の他、基調講演やミニセミナーなど例年以上に充実した内容となっています。是非ご参加ください。

01. まだ間に合います！ 今月11日まで申込受付中

いよいよ、『HCSソリューションフェア2019』の開催が間近となりました。今年は「株式会社北陸ジーエスシー(HGSC)」を新たな仲間として迎え、北陸コンピュータ・サービスグループとしてHCSソリューションフェアをお客様の価値ある催しとして準備しています。

基調講演では株式会社今野製作所 代表取締役 今野 浩好 氏をお招きして「IoT時代のものづくり」と題し、工場見える化と企業間連携の成功事例について、経営者の視点でICT利活用をどのように取組みしたか、今後どのように進展させたいかをご講演いただきます。デジタルトランスフォーメーションの重要性が叫ばれる今、皆さまのICT利活用のヒントにしていだければ幸いです。お申込の際は、こちらの基調講演の参加申込もお忘れなく！席は残り僅かですのでお急ぎください。

『プライバシーマーク』制度とは？

プライバシーマーク制度は、日本産業規格「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を評価して、その旨を示すマークを付与し、事業活動に関してマークの使用を認める制度です。事業者にとっては法律への適合性はもちろんのこと、自主的に高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用している証となります。

弊社は、1999年8月、**北陸地区で初めて**「プライバシーマーク制度」の審査に合格しました。

02. 11回目のプライバシーマーク更新

10月、弊社は個人情報の保護に関する「プライバシーマーク制度」の更新審査に合格し、1999年の初回認定から数え、11回目の更新が認定されました。審査基準である「JIS Q 15001」が2017年版に改訂され、初めての更新審査でしたが、日々の着実な取組みが高く評価され、“指摘事項なし”で認定を受けることができました。プライバシーマーク下の(11)は、更新回数を表します。

これまで以上に、一人ひとりが個人情報の保護と活用に関する理解力を高め、今後もお客さまに安心して業務をお任せいただけるよう、安全性・信頼性の向上に心がけます。



HCSのよこがお



営業本部 高岡ソリューション営業部

たむらたかふみ

田村 卓史 さん

Q. 現在の業務内容は？

高岡支社を拠点にして、富山県の呉西地区をメインに営業活動を展開しています。製造業が得意分野で、お客様の約8割が製造業様なのですが、15年ほど前に営業本部内で製造業の分野に注力する取り組みがあり、そのチームに参加したことが大きな転機となりました。

Q. 今後の目標は？

4月にマネージャーになり、研修で管理職の基本を学んでからは、管理職としての上司の言動を意識するようになりました。いかに大変な立場なのかを痛感すると同時に、自分もその立場になり、部下を導いていく責任感も生まれました。これからは、今まで培った製造業の商談ノウハウを生かし、部下の営業活動をバックアップしたいです。

編集後記



今号は、丸一運輸様にTQ運輸の導入事例についてお話を伺いました。TQ運輸のベースとなっている弊社パッケージシステム「ターコイズ販売管理システム」は、各種卸売業や製造業、今回の丸一運輸様のような運送業など様々な業種業態の実運用にフィットするシステムです。また、サーバ導入形態も弊社釧路データセンターを利用したクラウド運用等、お客様の運用に合った形態をご提案します。皆さまのICT利活用をご支援しますので是非、担当営業にご相談ください。(やまだ)

お問い合わせ



全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICT イノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

www.hcs.co.jp